

備えあれば、憂いなし。

合言葉「**自助**・**共助**・**公助**」を大切に

まずは、あなたの備えから

自助

は、自分の命は自分で守ること。

防災グッズ（4ページ参照）を用意したり、あらかじめ避難ルートを確認するなど、いざという時のために日頃からの備えが大切です。

公助

は、救助・救援物資などの行政機関による支援のこと。

市では、①防災行政無線の整備・②津波避難ビルの指定・③津波避難タワーの建設・④カモンたかいし（総合体育館）の建設など、防災対策に取り組んでいます。災害時、これらの設備を利用する際には、皆さんで共有しましょう。

共助

は、家族や地域で助け合うこと。

避難する際や避難所での避難生活において、特に重要となります。

まずは、自治会や自主防災組織の活動に参加することが大切です。

津波浸水想定区域



津波浸水想定区域について、詳しくは危機管理課へお問い合わせいただくか、市ホームページまたは公共施設に設置している津波ハザードマップをご確認ください。

問合先 危機管理課 ☎(275) 6247

● 浸水想定区域内

マグニチュード 9.0 の南海トラフ巨大地震が発生した時に、100 分後 5 メートルの津波が到達すると想定される区域

訓練対象 千代田、高師浜、加茂、綾園、羽衣、東羽衣の一部

● 浸水想定区域外

南海トラフ巨大地震の津波による浸水は想定されていませんが、上町断層を震源とする震度 6 強の直下型地震が発生した時に、火災が多数発生すると想定される区域

訓練対象 西取石、取石、東羽衣の一部

いざという時、あなたの行動は？

地震発生

■身の安全を確保する

《《

■揺れがおさまったら、火の元を確認

《《

■ドアや窓を開けて逃げ道を確認

《《

■家族・近隣の安全を確認

《《

■ラジオなどで正確な情報を確認

《《

大津波警報発令

■家を出るまたは避難する前には、電気のブレーカーを切る

《《

訓練は、市内に設置の防災行政無線
の放送に注意して行動してください。

〈訓練想定〉
地震発生時間：午後1時？分

11月1日

Wed.
水

は、総合避難訓練！

津波避難訓練

共助 mission

手を取り合って、鴨公園へ！

大津波警報が発令後、素早く鴨公園をめざして避難してください。また鴨公園への到達が難しいと判断した場合は津波避難ビル等へ避難してください。



さらに、避難生活を見据えて
各自治会・自主防災組織と共に参加してください。



直下型地震訓練

共助 mission

速やかに避難し、初期消火を！

地震発生後、身の安全を確保し、取石小学校、取石中学校へ避難してください。取石小学校では、直下型地震による火災を想定し、初期消火訓練を実施します。



共助 mission

共助による避難所運営を！



共助が重要となる避難所運営。今回の訓練では、避難者の把握・必要物資の集約・災害対策本部との情報共有・物資受取を体験します。

公助 new mission ※

物資をいち早く避難者のもとへ！

～「国 × 企業 × 市」によるプッシュ型支援訓練～



次々と送られてくる支援物資を円滑に避難者のもとへ届けるために各種団体との連携を確認する訓練。物資の集積拠点での仕分け・分配を実施します。
※詳しくは、次のページをご覧ください。

3日以降

3日まで

10分後以降

■自主防災組織を中心に行動する
■助け合いの心で、集団生活のルールを大切に

避難生活



■生活必需品は備蓄でまかなう
※防災3日程度は、外部からの支援が届かない場合があるため
■災害や被害に関する情報に注意する
■壊れた家には入らない



※警報が解除されるまで絶対に海岸部には近づかない

■鴨公園等の高台まで避難が困難な場合は、津波避難ビルへ
■まずは、鴨公園等の高台をめざして避難する
■隣近所で協力して消火・救出活動をする
■消防署等へ通報する

浸水想定区域内

浸水想定区域外

ここからは、避難訓練に参加して
実際の災害に備えましょう！

*写真は、昨年・一昨年に実施した訓練の様子

訓練は、市内に設置の防災行政無線
の放送に注意して行動してください。

〈訓練想定〉
地震発生時間：午後 1 時 ? 分



new mission

午後 2 時～3 時

物資をいち早く避難者のもとへ！
～「国 × 企業 × 市」によるプッシュ型支援訓練～

昨年の熊本地震では、必要なときに必要なものが届かないなど、支援物資の避難者への提供が困難であったといわれています。これを踏まえ、災害時の流通がストップしたときの、国・地方自治体・全国チェーンの企業との連携の体制づくりが必要と 8 月の防災シンポジウムで議論されました。

それを受け今回の訓練は、経済産業省・セブン&アイホールディングス・ヤマト運輸の協力による支援物資を集積・配送する訓練です。国・地方自治体・企業に加えて住民まで参加する訓練は、全国的にも画期的な試みです。

〈プッシュ型支援を受け入れる連携（訓練）の流れ〉



自助

あなたの家は大丈夫？
耐震補助制度をご利用ください

市では地震に強いまちづくりをめざす施策の一環として、旧耐震基準で建てられた昭和 56 年以前の木造住宅の耐震改修を積極的に進めていただくために、「耐震診断」・「耐震改修」に伴う費用の一部を補助する制度を実施しています。もう一度わが家の耐震化について考えてみましょう。

耐震診断補助制度 | 耐震改修補助制度

補助額 診断費用の 90% | 補助額 最大 90 万円
(最大 4 万 5000 円まで)

※所得により補助額が異なります。また、補助の適用外となる場合があります。

※いずれも事前申請が必要です

申込・問合せ先 建築住宅課 ☎(275)6418

自助

避難する時に持ち出すものを
まとめておこう！

リュックサックなどに避難時に持ち出す物をまとめておきましょう。もうすでに準備している家庭では、賞味期限等を確認し必要に応じて新しいものと交換を行いましょう。なお、飲料水や食品は 3 日分を目安に準備してください。

心掛けてほしい準備

飲料水 (大人 1 人…1 日 3 リットル)・食品・救急用品・軍手・懐中電灯・衣類 (下着含む)・毛布・ラジオ・電池・マッチ・ろうそく・常用薬・ウェットティッシュ

【小さな子どものいる家庭の準備】

ミルク・紙おむつ・ほ乳びん



各家庭の必要な備え